

花博30周年記念事業

あなたのまちに緑を増やしませんか

植樹のための寄付金を募集しています

花博30周年の今年、鶴見区では緑化活動に積極的に取り組み、その魅力向上につなげていきます。

- 寄付の特典**
- 期間中、1万円以上の寄付をいただいた方(団体を含む)には、お名前を記した芳名板を植樹場所に連名で設置します。
 - 15万円以上の寄付をいただいた場合は、単独で芳名板を設置します。

申込方法 送付・持参・FAX・メール・インターネット(申込フォーム)
※申込用紙は区ホームページからダウンロードいただけます。※申込用紙の郵送も行っていきます。

→インターネットで [記念植樹 鶴見区](#) 検索 **募集期間** 9月30日(水) まで

申込・問合せ 【寄付金に関すること】総務課(総務)4階(41)番 ☎6915-9625 ☎6913-6235
【植樹に関すること】総務課(政策推進)4階(41)番 ☎6915-9173 ✉tr001@city.osaka.lg.jp



花博開催30周年記念イベント
～PARK JAM in 花博記念公園鶴見緑地～
11月21日(土)・22日(日)に開催予定!

イベントで実施するプログラムのアイデアを募集中。あなたのアイデアが実際に鶴見緑地のイベントで実施されるかもしれません!

応募はこちら

問合せ 建設局 公園緑化部 調整課
☎6469-3815

鶴見緑地の歴史

鶴見緑地は、都市機能の向上や市民に快適なレクリエーションの場を提供するため、1941年(昭和16年)に服部・久宝寺・大泉緑地とともに計画決定され、現在約125haの緑地。計画決定の当時は、防空緑地として位置づけられていましたが、戦後、大阪市周辺部の市街化が進み、市内に残された最大の緑地公園として、整備が急がれる状況となり、1962年(昭和37年)に事業着手しました。

着手前の鶴見緑地は湿地帯で、東大阪の遊水池としての機能を持っていました。地盤かさ上げのための埋め立てを開始しましたが、高度経済成長に伴い家庭などから出る廃棄物が増大したため、地形の変化に乏しい大阪に一大丘陵を造る手段として廃棄物を利用することになりました。

本格的な造成工事が1970年(昭和45年)から始まり、地下鉄工事による土

砂や建築廃材、家庭や工場からの廃棄物など、トラック215万台分約860万m³を埋め立て、大阪市内で最高峰の標高45m(現在約39m)の鶴見新山を頂く緑地公園として整備を進めました。

1972年(昭和47年)に「市民園芸村」「大芝生」などが完成、その後「乗馬苑」、「青少年の森」など次々に完成し、1990年(平成2年)には花の万博の会場になり約2300万人もの多くの人を訪れました。

花の万博閉会后、鶴見緑地整備基本計画が策定され、さまざまな施設が建設・整備され現在の鶴見緑地になりました。



パーチカル(エンジンの駆動で水を吸い上げるもの。船尾に搭載)を積んで田んぼに水を入れていた。パーチカルが使えない所は、水車で水を入れていた。



2025年、再び大阪に万博がやってくる!

名称 2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)
EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

開催期間 2025年4月13日～10月13日

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
Designing Future Society for Our Lives

開催地 大阪市 夢洲地区

サブテーマ Saving Lives(いのちを救う)、Empowering Lives(いのちに力を与える)
Connecting Lives(いのちをつなぐ)



提供:経済産業省

★万博の桜2025募金にご協力を

2025年大阪・関西万博への期待感や機運を高めるため、大阪府内を中心に2025本の桜の植樹にご協力をお願いします。



申込・問合せ 万博の桜2025実行委員会事務局(公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会内)
☎4400-8739 ✉sakura2025@expo-cosmos.or.jp